学校番号	１２０６

令和８年度　情報科

教科	普・情報	科目	（学）自己表現（情報編Ｂ）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題作成や課題発表を通して、自分の伝えたい情報を分かりやすくまとめ、相手に伝える方法について学びます。また、情報社会の中で他者との関わりを持つための適切な方法・手段を用いてコミュニケーションを円滑に取るための学習をします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・コンピュータの操作についての技能を習得し、情報社会での他者との関わり方について理解をより深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・情報機器を活用して、情報を適切に収集・処理・表現する能力をより高める。
【学びに向かう力、人間性等】
・自己理解を深め、コミュニケーション能力を身に付けるとともに、他者を理解するための人間性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プレゼンテーション等における発展的な資料作成の技術やデータの活用について理解を深める。またその技能を習得するとともに、情報社会での他者との関わり方について理解している。	自分の伝えたいことを分かりやすく表現し、相手の伝えたいことを正しく理解することができる。また情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用することができる。	情報技術や情報社会に関心がある。プレゼンテーションを含めた自己表現に対して追求している。他者の発表に対して傾聴し、理解しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

前期	序編	プレゼンテーションソフトの使い方・プレゼンテーションを行う上での注意点などの復習	a:コンピュータを正しく準備し、ソフトを活用することができる。 b:ソフトの機能を通して、伝えたい情報を表現することができる。 c: プレゼンテーション発表に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 実技ﾃｽﾄ	実習課題 授業プリント	実習課題 授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
	第一編	プレゼンテーション課題 「自己紹介」	a:コンピュータを正しく準備し、ソフトを活用することができる。 b:ソフトの機能を通して、自分で伝えたいことを表現することができる。 c:文書作成に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ	実習課題 授業プリント	実習課題 授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
	第二編	文書作成ソフトの使い方の復習	a:コンピュータを正しく準備し、ソフトを活用することができる。 b:ソフトの機能を通して、伝えたい情報を表現することができる。 c:文書作成に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 実技テスト	実習課題 授業プリント	実習課題 授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
後期	第三編	映像作成課題 「３年間を振り返って」 自分の高校生活を振り返る映像を作成し、音声を付けて発表を行う。	a:ソフトの様々な機能を理解し、正しく使うことができる。 b:自分の伝えたいことを思考し、表現できている。 c: プレゼンテーション発表に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ	実習課題 授業プリント	実習課題 授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ
	第四編	成果発表	a: 発表をイメージした資料作成ができる。 b:自分の伝えたいことを分かりやすく発表することができる。 c:他者の発表を傾聴し、理解しようとしている。	実習課題 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ	実習課題 授業プリント	実習課題 授業観察 授業ﾌﾟﾘﾝﾄ 相互評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度